

(船橋航路) 防泥柵の老朽化対策について

事業概要

(1) 目的

船橋航路に隣接している防泥柵は、三番瀬から船橋航路への土砂の流出を防ぐ目的で千葉県企業庁により建設され、昭和45年に完成している。防泥柵は既に完成から50年以上が経過しているため老朽化が著しく、上部工コンクリートの剥落箇所が存在し、鋼矢板の腐食が進み腐食孔が開いている状況であり、今後防泥柵の老朽化が更に進んだ場合は、崩壊する可能性が高い。防泥柵が崩壊した場合、大型船舶の航行が可能な船橋航路と三番瀬との水深差があるため、三番瀬の浅瀬から流出した土砂により埋没することが懸念される。また、防泥柵に隣接している船橋航路は図-1に示すとおり、耐震強化岸壁へ繋がる航行ルートであり、航路が埋没した場合、災害時の緊急物資の輸送に支障を来す恐れがあることから、防泥柵が崩壊する前に老朽化対策を実施するものである。



図-1 防泥柵位置図

(2) 整備(補修)計画

①施設概要

防泥柵の構造は図-2に示すとおり、二重矢板式の構造であるが、防食対策がほどこされていないため腐食が進んでおり、完成時の肉厚 8.0mm に対し 2013 年の測定結果では平均で 4.0mm 前後にまで減少している。なお、腐食による開孔も存在(写真-2参照)しており、年々腐食が進んでいる状況である。鋼矢板の腐食状況は、三番瀬側、泊地・船橋航路側とも、同程度の状況である。

また、上部工コンクリートについては上部工上端から下端まで貫通しているひび割れが多数見られ(写真-1参照)、一部については上部工コンクリートが欠損し、中詰石が露出している箇所も存在している。

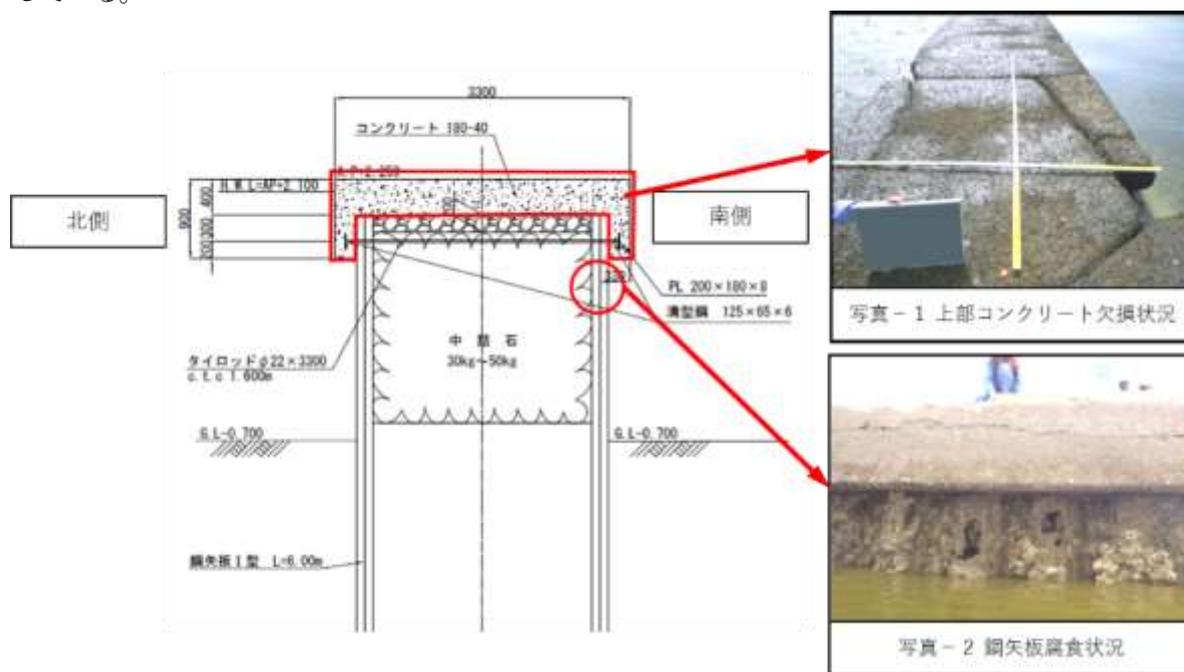


図-2 防泥柵現況図

②防泥柵補修

捨石を台形状に巻き込む石積形式とした補修断面図を図-3に示す。

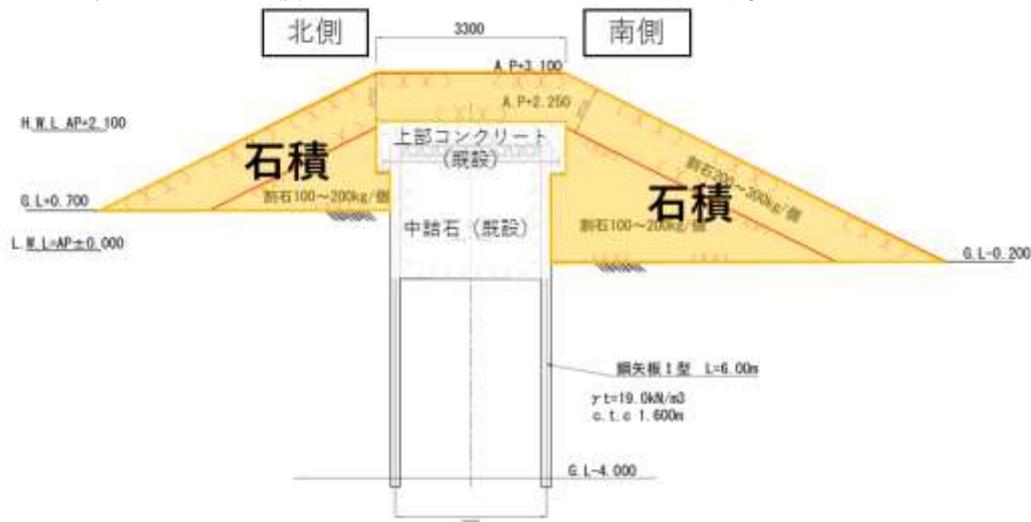


図-3 補修断面図

③今後の整備スケジュール

令和3年5月～：補修工事着手予定

(問合せ先)
 県土整備部港湾課 港湾管理班
 葛南港湾事務所 建設課